

# poco a poco

ポ コ ア ポ コ

第3号  
演奏旅行特集

2010年11月6日 発行

## 「ドイツ・エンディングンに行ってきました」



ドイツへ行って最初の印象は「あー、群馬(私の出身地)と一緒にだ」。水田と松林が続く平地の遠くに山が見えました。ただ、よく見ると、稲ではなくてブドウ、松は松でもやたらと大きいし、建物も遠くからは群馬っぽいけど、街に入ると白とオレンジで統一された独特の形でした。全てが絵葉書になるものばかりで、カメラのメモリが足りなくてSDメモリを買い足しました。

ツアーの中で、ホストファミリー(団員はいくつかに分かれてホームステイしました。)と地方の祭り(府中という商工祭り?)へ行きました。何かイベントがあると必ず吹奏楽の演奏があるようです。上手とは思えませんでした、楽器を演奏することは特別なことではなく、誰もが自然に楽しく音楽に関わっていると感じました。

ドイツ語は「ダンケ(ありがとう)」程度、英語も得意ではないので、片言の英語でなんとなく意思確認しながらの練習です。

バテないように交代で吹くため、「ここミー、ここユー」でなんとなくの意思疎通。でも、音楽(楽譜)はやっぱりすごい。言葉は通じなくても一緒に楽器は演奏できる。交代もバッチリ、確認していない場所も暗黙の了解です。「そこも休むの!」と思う部分もありましたが…。

コンサート当日、「オープンエアコンサート」の名のとおり、街の中心部の広場にステージを作ったの野外コンサートです。朝から雨で「体育館になるのかな」と思っていたら、街の人は「オープンエアコンサートは絶対晴れる大丈夫」という意味のわからない自信。確かに開演1時間くらい前には晴れて強烈な日差しが照りつけました。

19:30開演で終演は23:00頃?でした。(時間は長いがあっという間の印象)すごい拍手にスタンディングオベーション。言葉にできない感動でした。そこから打ち上げ開始。自分は早めに帰ったつもりですが、それでも夜中の3時でした。ドイツ人は体(とくに肝臓)が違うようです。

本当に貴重な経験をさせていただきました。このような経験ができたことは、エンディングン市全体での全面的な協力を始め、会社や家族全ての方のご理解とご協力のおかげです。本当にありがとうございました。

今後も感謝の心を忘れずに、吹奏楽の楽しさを一人でも多くの方にお伝えできるよう努力していきたいと思ひます。

ホルン 真島 道明





# 高原団長どたばた珍道中！ エンディング編

とりあえず団員と合流するまでは一人旅だと気楽に考えていましたが甘かった。

(仕事もドタバタしていると上長に怒られています)

## ★ドタバタその①:新幹線(ICE)への乗り換え

事前に確認しておけば良かったのだが、何とかなるだろうと思って何も検討しなかったが、いざとなるとこれがなかなか難しい。フランクフルト空港からの乗り換え Fernbahnhof (長距離列車発着駅)の看板を探して行きなさいと言われていたので探したが最初の看板は見つかったものの後に繋がらない。暫くウロウロしていたがさすがに多少焦りが出てきた。誰かに聞こうとしたが周りに係員が見つからないので、仕方なく新車販売コーナーの車の前に立っていたレースクイーン風の女性に聞いた。指差された方向は何と2階への階段、これじゃ見つからない。

(後でガイドブックを見たらデカデカと書いてあった。)



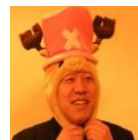
## ★ドタバタその②:車両トラブル？

その後、ジュースなどを買い込み指定された車両に乗り込んだ。スーツケースを置くところがわからないので車掌さん(女性・後に知らない駅で一緒にホームを全力疾走してくれる人)に聞いたら「乗車口の踊り場でいいよ。誰も盗らないから」みたいな感覚でした。(と言われても心配なのでチェーンでロックした。)その後は指定席で約1時間快適な生活を送り、長旅の疲れからか1時間位眠った模様。途中駅でICEが止まると、そこへさっきの車掌さんが突然現れて非常に緊迫した感じで、絵を描き始めた。東北新幹線のような絵(途中で電車が連結されていて切り離しが出来るようだ。)  
「あなたは今ココにいます。」そして、ココと指差し私の車両の前の連結部に大きくバツェンを書いた。えっ！うっそう！でも車掌さんは真顔である。私は数秒で荷物をまとめ、異常気象で35℃くらいの中、車掌さんと一緒に先頭から2両目位まで走った。ギリギリセーフだった。(車掌さんも乗り遅れたら洒落にならないのでしょう。鬼の形相で走っていた。)

ところで、エンディングゲン市民音楽団ですが、何と250年余りの歴史があるとのこと。その頃ドイツでは一体どんな楽器を使っていたのでしょうか。私は想像もつきません。

(日本は何と江戸時代です。びっくり！)

東芝府中吹奏楽団 団長  
パーカッション 高原 秋広



## 「エンディングゲン市民音楽団より」

東芝府中吹奏楽団との1週間はとても印象的なものとなりました。

2008年に私たちが日本を訪れてから、今年の夏がどのようなものになるのか？、みなさんに楽しんでもらえるだろうか？、エンディングゲンのようなたった7000人の人口の街がみなさんにはどう映るだろうか？、コンサートはどうなるだろうか？、みなさんはエンディングゲンになにを期待してるだろうか？等、思いをはせて準備してきました。そのような心配をよそに皆さんのいらした1週間では、たくさんのすばらしい体験をすることができました。その中でも特に合同練習が印象に残っています。両楽団のメンバーは、それぞれが自分のできる限りの力を出し尽くして音楽をしたと思います。音楽は、世界のどの言語よりもすばらしい言葉だと思いました。指揮者としての私の喜びは、皆さんのような素晴らしい楽団を指揮することができたことです。オープンエアコンサートでは、聴衆のスタンディングオベーションがどれだけ聴衆が感動したかの証です。金沢君枝さんの指揮する八木節は、日本の伝統音楽として聴衆をその虜にしました。同時にエンディングゲンの団員も、私も、2008年の日本訪問を思い出し、胸が熱くなるのを抑えることができませんでした。1週間を通して色々なイベントとともに体験するに当たって、言葉の壁を乗り越えることができたと感じています。この一週間は私たちにとって、とても、とてもよい思い出として心に残ることでしょう。またお目にかかることを願って。

エンディングゲン市民音楽団 音楽監督  
マーティン バウムガルトナー



日本は10000キロも離れている遠い国です。しかしあまりそれを感じずにすんだのは、恐らく日本とドイツの両国のメンタリティーがどこか似ていることにあるのでしょうか。そのせいか今回の東芝府中吹奏楽団の皆さんをお迎えするにあたって、二つの音楽団をまとめることにあまり違和感を感じずにすみました。7月の暑い中、合同練習、遠足、ワイン試飲会等をしました。私たちを結び付けていたのは音楽のみならず、一緒に集まってわいわいと楽しむことだと言うことも感じました。私たちにとっての東芝府中の皆さんからのサプライズは鏡割りでした。このような儀式はもちろんこちらにはありません。またお酒をグラスからのむのではなく、素敵に飾られた枡から飲むということも印象的で、木の香りのするすばらしいお酒を味わうことができました。特に私たちが誇りに思ったのは、青木事業所長、盛執行委員長がエンディングゲンを訪れてくださったことです。オープンエアコンサートの後、夏の間中、色々な市民から「とてもすばらしいコンサートだった、どのようにしてこんな大イベントができたのか？」と感動の声をかけられました。エンディングゲン市民音楽団と東芝府中吹奏楽団のメンバーには共通の言葉はありませんでしたが、お互いに素晴らしくコミュニケーションでき、楽しい1週間を過ごすことができたと思っています。ここに生まれた両楽団の友情をこれからも保っていければいいと思っています。また皆さんにお目にかかる日を心より楽しみにしております。

エンディングゲン市民音楽団団長  
シモーネ レッフルー



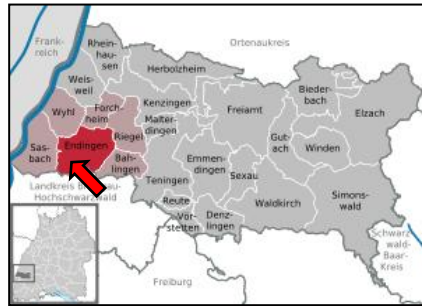
# 「ディーベディア」TFW0フリー百科事典

## ～エンディングン(Stadt Endingen)～

エンディングン市(標準ドイツ語: Stadt Endingen)  
ドイツ南西に位置する人口約 7,000 人の町。

### 目次

- 1 地理
- 2 歴史
- 3 環境
- 4 見所
- 5 グルメ
- 6 文化
- 7 コウノトリ
- 8 言語



郡内の位置

| 紋章        | 地図                                                   |
|-----------|------------------------------------------------------|
|           |                                                      |
| 基本情報      |                                                      |
| 標高:       | 海拔 186 m                                             |
| 面積:       | 26,72 km <sup>2</sup>                                |
| 人口:       | 9.091 人(200012.31)                                   |
| 人口密度:     | 340 人/km <sup>2</sup>                                |
| 郵便番号:     | 79346                                                |
| 市外局番:     | 07642                                                |
| ナンバープレート: | EM                                                   |
| 自治体コード:   | 08 3 16 012                                          |
| 行政庁舎の住所:  | Marktplatz 6<br>79346 Endingen<br>am Kaiserstuhl     |
| ホームページ:   | <a href="http://www.endingen.de">www.endingen.de</a> |
| 市長:       | Hans-Joachim Schwarz                                 |

### 地理

ドイツ最大の森林地帯「黒い森」の西、ワインの産地として知られるカイザーシュテール山の北にあり、車なら西方のライン川で隔てられたフランスまでは約 10 分。南方のスイスまでは 45 分。

### 歴史

古くは西暦 856 年に、歴史書にその名を表します。エンディングン市民吹奏楽団は 250 年の歴史があります。日本は江戸時代、平賀源内が活躍していた 1753 年に誕生し、大切に守り育てられてきました。

### 環境

ドイツで一番温暖な地方で、国内外から訪れる観光客が多く、ワイン栽培とワイン生産が盛んな他、商工業も盛ん。約 70 のサークルや同好会があり、大人も子供も地域を愛し、生活を楽しんでいます。田舎町では過疎化しがちなイメージがあるが、エンディングン市は若者が多くとても活性化しています。若者のほとんどが英語を話せます。夏は 22 時ぐらいまで明るいが、朝と夜は肌寒いです。日差しはとても強いが湿気がないので日陰に入るととても涼しいです。

### 見所

石畳の街路と木組の民家、広いワイン畑。中世ヨーロッパの世界がそこにあります。町の端から端まで徒歩で 30 分程度の小さな町で、信号はなく交差点はサークルになっています。市役所の上にはコウノトリの巣があり、平和の象徴となっています。糞の落下には要注意です。



### グルメ

エンディングン市民はお昼ご飯を多く食べ夜はあまり食べない習慣です。飲料水は基本的に購入で、炭酸入りの水が主流です。最上級のおもてなしの一つに、猪の丸焼きがあります。味は格別です。もちろんソーセージも旨い。しかし思いのほか食べる機会はないです。アイスコーヒーを頼むと、コーヒーの上にバニラアイスが乗って出てくる。



### 文化

小さな街のため、市民はみな兄弟のように仲がよく、とても親切な人が多い街です。知らない人でも街中では「ハロー」と挨拶することが通常です。

エンディングンには紳士的な男性が多く、日本人女性の結婚相手には最適。

写真撮る時は、「ランズィロッチィ(イタリア系の名字)」「パウミー」「スパゲッティ」などの掛け声があります。

音楽の歴史が深く、市民の関心度もとても高いです。音楽に対する反応、対応能力はずば抜けています。

### コウノトリ

エンディングンにはコウノトリが生息しています。

巣は役所の屋根の上にあります。

コウノトリは奇妙な音をたてて飛びます。

コンサート当日糞を落とされたチューバ奏者がいます。

### 言語

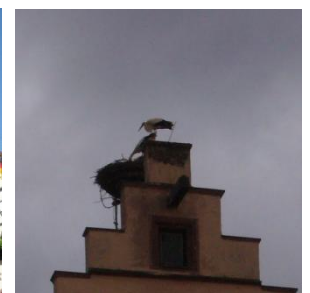
《通じる日本語》(通じた日本語)

カワイイ

「頭から」……曲の始めから演奏してほしいときに言います。

《困ったときのドイツ語》

とりあえず「ダンケ」と言えば大体OKです。





## 「泰策の部屋」

エンディングゲンはドイツの南、スイスとフランスの国境に程近い小さな町である。

一応、市とはなっているが、人口は7000人程度とのことで、規模としては村である。

遠くから車で近づいて行くと緑の畑の中に教会の尖塔が見え出し、赤いレンガ色の家並みが見えてくる。

町の中心部は昔の街並みがそのまま保存されていて、散策していると安らぎを感じる。

外観は昔のままでも、内部は今の生活様式に合わせて改修されており、快適になっている。

新しく建替えたほうが安上がりで出来そうだが、彼らの古いものを大切にしたい心意気を感じる。

新しい住宅地でも、建物の形や色使いに統一感があり、落ち着いた街並みを形造っている。

また、家々の窓にはプランターが置かれ美しい花が窓辺を飾っている。

水さえ欠かさなければ簡単に咲かし続けられるとのことだが、これが名もない橋にも飾られている。

質素でもぜいたくでもなく、ごく普通に生活を楽しむ余裕が感じられる。

これに対し、今の日本はどこかの田舎に行ってもコンビニがあり、道路には看板が並び醜悪な街並みが続く。

便利にはなったかもしれないが、穏やかで美しい日本が消えて久しいと感じる。

彼らの家は石造りであり、日本は地震や台風で古い建物を残すのが難しいという風土的な背景はあるかもしれないが文化の違いを感じさせられるドイツ訪問であった。



ホルン 名須川 泰策

## 「団員募集！」

**求む！！**



当団は、株式会社 東芝 及び東芝グループ、協力会社の従業員で構成しています。

**やる気のある方、興味のある方は下記URLよりご一報をください。**

<http://homepage1.nifty.com/TFWO/contact.html>



現在、団員は50名ほど在籍し、練習は週1回、東芝府中事業所内で行っています。詳しくはHPへ！！

<http://homepage1.nifty.com/TFWO/>

## 「演奏会情報」

### 第14回アンサンブルコンサート

2011年3月5日(土) (時間未定)

府中の森芸術劇場 ウィーンホール

### 第41回定期演奏会

2011年5月14日(土) 14:00 開演

府中の森芸術劇場 どーいむホール

＜曲目＞ ※予告なく曲目が変更になることがありますので、予めご了承ください。

グランドマーチ / 小長谷 宗一

バス・トロンボーンのためのバラード

/ ヤン・ヴァンデルロースト

ラプソディ・イン・ブルー / G・ガーシュイン 他

＜ゲストプレイヤー＞

トーマス・ワークナー (バス・トロンボーン)

(ドイツ・オッフエンブルク音楽学校講師、

コンポーザー スライド カルテット・バス・トロンボーン

奏者、シュタットムジーク エンディングゲン団員)

柴田いづみ (ピアノ)

## 編集後記

ついに poco a poco 第3号発行できました(；▽^A^^ 今回もたくさんの方にご協力いただき、感謝しております。

今回はエンディングゲン特集でしたが、創刊号、第二号には世のネタも満載です。過去の poco a poco はHPで

閲覧できます(そしてHPにある団員ブログでは演奏活動や練習内容などさまざまな情報を載せていますので

そちらもご覧ください♪「泰策の部屋」は連載を予定しております。

これからも東芝府中吹奏楽団の発行する poco a poco 読んでくださいね o(\*^▽^\*)o

ホームページでも様々な情報を発信しております。ぜひ、ご覧ください。 第3号編集長 CaptainCAT

東芝府中吹奏楽団HP: <http://homepage1.nifty.com/TFWO/>